

2020 年
はらメディカルクリニックは変わります!



最先端の医療で
最短の妊娠を

progress to the next stage

〔略歴〕

2013 年慶應義塾大学大学院医学研究科修了。医学博士。東京歯科大学市川総合病院産婦人科助教、慶應義塾大学産婦人科助教。ノースウェスタン大学産婦人科（米国シカゴ）研究助教授。2018 年より、はらメディカルクリニック非常勤医師、2020 年より同院常勤勤務。産婦人科専門医、生殖医療専門医、再生医療認定医、日本内分泌学会内分泌代謝科専門医。



患者様に寄り添いながら、
最新医療を駆使して妊娠を叶えたい

宮崎薫です。慶應大学病院を経て、米国で不妊治療に関するたくさんの研究を経験し、帰国。2年間当院で非常勤医師として勤務し、この4月より常勤医師として着任します。

医師とは、社会への価値の還元、つまりは生涯で患者様に貢献した差分が価値になると考えています。そのため、研究と臨床がペアになる必要があります。非常勤医師としての勤務期間に、このペアを高い次元で実践しているのが当院であると確信し、当院の常勤医師となることを決めました。わたしも原院長同様に、患者様に寄り添いながら、培ってきた最新の医療技術を使って妊娠という成果をお返しできたらと思います。

宮崎 薫

Miyazaki Kaoru

〔研究業績〕

生殖医療分野：後方視的研究による、早発卵巢不全患者の予後に寄与する因子の検討。

基礎研究分野：子宮内膜幹細胞において、疾患の病態の関連性解明を目標とし、再生過程における幹細胞の分化を詳細に観察。大学院では、子宮組織の脱細胞化マトリックスの作成と、それを用いた組織再生に着目。ラット子宮の完全な脱細胞化法を確立し、脱細胞化マトリックスによる妊孕能の子宮再建が可能であることを実証。米国ノースウェスタン大学ポスドクトラルフェロー勤務時、ヒト iPS 細

胞の子宮内膜間質細胞への分化法を開発。研究助教授昇格後は、子宮内膜間質細胞におけるホルモン受容体および転写因子の相作用を、RNA-seq や ChIP-seq といった次世代シーケンサーを用いて解明することを研究の主目的とした。

◎原著論文10 編／臨床論文および症例報告13 編／総説および解説論文8 編／学会発表33 編

4月から宮崎 薫医師着任。

みなさま に最新の医療をお届けいたします。

旧来の医学常識と最新の生殖医学を
マッチングさせた医療を

宮崎薫先生は慶応大学病院時代から将来を嘱望される注目の医師でした。米国研究留学時に「すごい日本人医師がいる」との評判が日本にも届き、医局の先輩として鼻が高かったのを覚えています。米国で認められるということは、新しいことを生み出すクリエイティブな力とそれを実現できる才能があるということです。

彼の着任により、当院の目指す「最先端の医療で最短の妊娠を」を、より正確な方向に導く推進力となること間違いありません。最新の生殖医学をマッチングさせた SPEED（スピード）、OPEN（オープン）、SIMPLE（シンプル）という新しい治療スタイルへの進化を期待します。

原 利夫

Hara Toshio

〔略歴〕

医学博士。1983 年慶應義塾大学医学学位取得。同大産婦人科助手を経て、東京歯科大学市川総合病院勤務。1987 年同大講師となる。この間、日本初の体外受精凍結受精卵ベビー誕生のプロジェクトに参加。1989 年より千葉衛生短大非常勤講師を兼務。1992 年オーストラリアパース大学 sperm research program 修了。1993 年都内初の不妊治療専門施設、はらメディカルクリニックを開院。1994 年～1996 年放送大学自然環境科学プログラム講師。2011 年日本初の生殖医療専門看護師養成のための ART nurse academy を設立。日本産科婦人科学会専門医。日本 IVF 学会理事、日本生殖心理カウンセリング学会理事、日本レーザーリプロダクション学会理事などの要職を歴任。



予約しやすい！わかりやすい！

はらメディカルクリニック 新しい取り組み

☑ 診察は医師2名体制へ

診察予約に、これまでの「診察（原院長）」に加えて「診察（宮崎医師）」が新設されます。ご希望により自由にご予約いただけますが、周期内は同じ医師にて診察されることをお勧めします。なお、お急ぎの場合は来院後に状況に応じて医師を変更いたしますので、受付スタッフにお申し付けください。

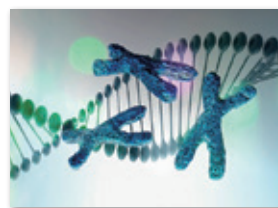
☑ オンライン診療がスタート

一部の外来やカウンセリングにおいて、7月より専用のスマートフォンアプリを使ったビデオチャットによるオンライン診療が可能になり、ご来院が不要になります。お支払いはクレジットカードにて行い、薬処方時はヤマト便や郵便にてお届けします。



☑ 着床前スクリーニング (PGT)

着床前スクリーニング (PGT) は、体外受精にて得られた胚を移植前に検査し、染色体数の異常検出と遺伝子解析を行い、異常のある胚をふるいにかけることを目的とします。この検査により流産率は低下しますが、検査自体の信頼性には課題があり、正常胚であっても異常胚と判断する場合やその逆もあります。また、PGT をすることで物理的な胚へのダメージリスクもあることから、当院では国内の PGT 実施胚と未実施胚の妊娠率と継続率を検討した後、8月頃より慎重に開始していく予定です。



☑ タイミング・人工授精の方のための勉強会を新設

タイミング療法や人工授精をすることで、どのように「妊娠」に繋がるのかを正しく知っていただくための勉強会。6月より定期的開催いたします。



☑ メディカルアシスタントによるご案内

検査や処置のご説明、採卵や胚移植決定時のご説明、お薬渡し業務などにおいて、これまでの看護師に加え、メディカルアシスタントを配置いたします。



☑ 通院中の方のメール問い合わせ窓口を新設

これまで通院中の方からのお問い合わせ方法はお電話のみでしたが、診療以外の内容についてはメールもご利用いただけるようになります。HPの「お問い合わせ」ページの「予約・助成金・手続きに関するお問い合わせフォーム」をご利用ください。

